

利根川が氾濫したら利根川沿いのほとんどの地域が浸水します！

市町では公的な避難先の確保を進めていますが、収容できる人数に限られます。

日頃から「親戚・知人宅や宿泊施設・勤務先等の自主避難先の確保」

を考えておきましょう。

まず

浸水のおそれが高い地域の
親戚・知人宅や宿泊施設・勤務先等



浸水のおそれがある地域にお住いの親戚・知人がいる方は、

避難の声かけや避難の受入れをお願いします。

各自で確保

つぎに

市町が指定する
避難先



利根川中流4県境広域避難協議会

(板倉町・加須市・古河市・境町・坂東市・館林市・佐野市・気象庁・利根川上流河川事務所)

利根川の氾濫の危険が高まったためらわず早めに
広域避難「逃げ遅れゼロ」を目指して

利根川が氾濫した際には、広範囲に深い浸水、長期間の浸水が想定されます。利根川中流域の5市町（坂東市、古河市、境町、板倉町、加須市）の浸水区域内の人口は約13万人になり、大部分が浸水区域になる市町もあります。

それぞれの市町の中で浸水区域の外に避難をしようとする避難所などに入れない方が大勢現れてきてしまいます。

そのため、お住いの市町の外に避難をする広域避難が重要になります。

広域避難先は、まず、浸水のおそれが低い親戚、知人宅や宿泊施設、勤め先などをご検討ください。

坂東市は、市内のみでの避難が可能な想定をしておりますが、市外からの避難者が予想されます。

市民の皆様には、親戚、知人などから避難の受け入れを相談された際には、ご理解ご協力をお願いいたします。

利根川中流4県境広域避難協議会

平成29年度に5市町をメンバーとして発足され、のちに館林市と佐野市が加入し、利根川氾濫時に「逃げ遅れゼロ」を実現するため、自治体間連携を含む広域避難体制の構築・運用のための検討を行います。